

平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月2日

上場取引所 東 名

上場会社名 シロキ工業株式会社

コード番号 7243 URL <http://www.shiroki.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 松井 拓夫

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 楓 力考

TEL 0533-93-1269

四半期報告書提出予定日 平成27年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	91,273	6.5	1,366	△4.1	2,059	△3.6	1,496	19.0
26年3月期第3四半期	85,717	3.1	1,424	△35.6	2,135	△5.1	1,257	1.8

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 1,843百万円 (△20.0%) 26年3月期第3四半期 2,305百万円 (107.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	16.89	—
26年3月期第3四半期	14.19	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第3四半期	78,829	40,155	50.6	450.20
26年3月期	78,960	40,379	50.8	452.74

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 39,893百万円 26年3月期 40,124百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	2.00	—	3.00	5.00
27年3月期	—	2.00	—		
27年3月期(予想)				3.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	121,000	2.7	2,700	2.7	2,400	△26.2	1,600	△21.4	18.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期3Q	89,003,624 株	26年3月期	89,003,624 株
27年3月期3Q	390,915 株	26年3月期	378,010 株
27年3月期3Q	88,620,979 株	26年3月期3Q	88,635,912 株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におきましては、国内経済は緩やかな回復基調にありますが、円安の進行による輸入原材料の調達コスト上昇などにより景気は足踏み状態となっております。一方、海外においては、米国では堅調な景気を維持しておりますが、欧州や新興国では先行きに不透明感が強まっております。

このような状況の中、自動車業界におきましては、国内については7月以降生産台数は前年同月を下回る状況が続いております。一方、海外では米国、中国での生産状況は堅調な推移ですが、一部新興国では生産減の状況となっております。

この結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は912億73百万円（前年同四半期比6.5%増）となりましたが、一部のシート製品のたな卸資産評価損2億40百万円を計上したことなどにより、営業利益は13億66百万円（前年同四半期比4.1%減）、経常利益は20億59百万円（前年同四半期比3.6%減）、四半期純利益は14億96百万円（前年同四半期比19.0%増）となりました。

今後、完成車メーカーがますますグローバル展開を加速していく中で、新興国を中心とするコスト競争の激化に加え、軽量化や安全面でのさらなる技術開発拡大も予想され、そうした環境下でそれぞれの課題に対応し持続的に成長し続けるために、当社はアイシン精機株式会社と経営統合による競争力強化を決断するに至り、平成26年12月19日に株式交換を通じた経営統合に関する基本合意書を締結いたしました。なお、本経営統合にあたっては当社の株主総会の承認及び各国において適用される競争法に基づく関係当局による承認等を前提としており、平成28年4月1日からの統合を計画しております。詳細につきましては、平成26年12月19日発表の「アイシン精機株式会社とシロキ工業株式会社による株式交換を通じた経営統合に関する基本合意書締結のお知らせ」をご確認ください。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①日本

売上高は618億90百万円（前年同四半期比5.0%増）となりましたが、一部のシート製品のたな卸資産評価損2億40百万円を計上したことなどにより、セグメント利益は6億37百万円（前年同四半期比19.8%減）となりました。

②米国

売上高は196億48百万円（前年同四半期比13.9%増）となり、セグメント利益は2億35百万円（前年同四半期は90百万円の損失）となりました。

③中国

売上高は54億90百万円（前年同四半期比11.0%増）となり、セグメント損失は18百万円（前年同四半期は2億31百万円の利益）となりました。

④東南アジア

売上高は65億65百万円（前年同四半期比3.2%減）となり、セグメント利益は5億20百万円（前年同四半期比10.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産につきましては、現金及び預金が25億99百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が30億17百万円減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べて1億31百万円減少し788億29百万円となりました。

負債につきましては、退職給付に係る負債が4億79百万円増加し、未払法人税等が4億円増加した一方で、支払手形及び買掛金が13億37百万円減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べて92百万円増加し386億73百万円となりました。

純資産につきましては、退職給付に関する会計基準等の適用により、退職給付債務の計算方法の変更に伴う影響額16億21百万円を利益剰余金から減じたことなどにより、前連結会計年度末に比べて2億23百万円減少し401億55百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年4月24日に公表しました連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を単一の割引率から退職給付の支給見込期間及び支給見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第3四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る資産が20億73百万円減少し、退職給付に係る負債が4億18百万円増加し、利益剰余金が16億21百万円減少しております。また、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ25百万円減少しております。

(4) 追加情報

(表示方法の変更)

従来、技術供与先である連結子会社等から受け取る受取ロイヤリティー等を「営業外収益」の「その他」に計上していましたが、第1四半期連結会計期間から「売上高」に含めて計上することに変更いたしました。

この変更は、最近の海外連結子会社等での生産・販売活動の拡大に伴い、受取ロイヤリティー等が増加したこと、また今後も継続して受取ロイヤリティー等の増加が見込まれることなどから、当社の営業活動の成果をより適切に表示するために行ったものであります。

この表示方法の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表の組み替えを行っております。この結果、前第3四半期連結累計期間の四半期連結損益及び包括利益計算書において、営業外収益の「その他」に計上していた83百万円を「売上高」に組み替えております。この組み替えにより、営業利益が83百万円増加しておりますが、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。また、この変更に伴い、前連結会計年度の連結貸借対照表における流動資産の「その他」に計上していた24百万円を「受取手形及び売掛金」に組み替えております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,334	13,934
受取手形及び売掛金	21,919	18,902
商品及び製品	968	1,255
仕掛品	741	798
原材料及び貯蔵品	2,160	2,289
その他	3,770	3,423
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	40,894	40,602
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,188	6,358
機械装置及び運搬具（純額）	12,998	13,422
土地	3,879	3,916
建設仮勘定	3,512	2,258
その他（純額）	2,628	3,019
有形固定資産合計	29,208	28,975
無形固定資産		
その他	305	343
無形固定資産合計	305	343
投資その他の資産		
投資有価証券	1,696	2,213
繰延税金資産	1,008	2,381
退職給付に係る資産	5,165	3,662
その他	709	679
貸倒引当金	△28	△28
投資その他の資産合計	8,552	8,908
固定資産合計	38,065	38,227
資産合計	78,960	78,829

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	20,787	19,449
短期借入金	1,475	1,641
1年内返済予定の長期借入金	20	99
未払法人税等	408	808
賞与引当金	1,073	507
役員賞与引当金	51	34
その他	4,246	5,103
流動負債合計	28,064	27,646
固定負債		
長期借入金	7,571	7,596
役員退職慰労引当金	15	10
退職給付に係る負債	2,254	2,734
資産除去債務	281	285
その他	393	400
固定負債合計	10,516	11,027
負債合計	38,581	38,673
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,460	7,460
資本剰余金	9,699	9,699
利益剰余金	21,160	20,592
自己株式	△97	△100
株主資本合計	38,222	37,651
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	393	611
為替換算調整勘定	510	631
退職給付に係る調整累計額	997	999
その他の包括利益累計額合計	1,902	2,241
少数株主持分	255	262
純資産合計	40,379	40,155
負債純資産合計	78,960	78,829

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	85,717	91,273
売上原価	75,413	80,954
売上総利益	10,304	10,319
販売費及び一般管理費	8,880	8,953
営業利益	1,424	1,366
営業外収益		
受取利息	41	70
受取配当金	17	21
為替差益	537	704
金型等売却益	131	23
その他	141	48
営業外収益合計	868	869
営業外費用		
支払利息	101	118
金型等売却損	43	38
その他	12	19
営業外費用合計	157	176
経常利益	2,135	2,059
特別利益		
固定資産売却益	1	—
特別利益合計	1	—
特別損失		
減損損失	156	36
その他	5	6
特別損失合計	161	43
税金等調整前四半期純利益	1,975	2,015
法人税、住民税及び事業税	295	1,040
法人税等調整額	410	△523
法人税等合計	705	517
少数株主損益調整前四半期純利益	1,269	1,498
少数株主利益	11	1
四半期純利益	1,257	1,496
少数株主利益	11	1
少数株主損益調整前四半期純利益	1,269	1,498
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	96	217
為替換算調整勘定	939	125
退職給付に係る調整額	—	1
その他の包括利益合計	1,036	345
四半期包括利益	2,305	1,843
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,264	1,836
少数株主に係る四半期包括利益	41	7

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	日本	米国	中国	東南アジア	合計
売上高					
外部顧客への売上高	56,957	17,182	4,918	6,659	85,717
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,988	69	28	121	2,208
計	58,945	17,251	4,947	6,781	87,926
セグメント利益又は損失(△)	795	△90	231	469	1,406

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,406
セグメント間取引消去	18
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	1,424

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
重要な減損損失又はのれんはありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成26年4月1日 至平成26年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	日本	米国	中国	東南アジア	合計
売上高					
外部顧客への売上高	59,854	19,592	5,453	6,372	91,273
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,035	56	36	192	2,321
計	61,890	19,648	5,490	6,565	93,595
セグメント利益又は損失(△)	637	235	△18	520	1,374

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,374
セグメント間取引消去	△8
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	1,366

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
重要な減損損失又はのれんはありません。4. 報告セグメントの変更等に関する事項
(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を単一の割引率から退職給付の支給見込期間及び支給見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べ、当第3四半期連結累計期間のセグメント利益が「日本」で25百万円減少しております。

(受取ロイヤリティー等の表示方法の変更)

従来、技術供与先である連結子会社等から受け取る受取ロイヤリティー等を「営業外収益」の「その他」に計上しておりましたが、第1四半期連結会計期間から、「売上高」に含めて計上することに変更いたしました。

この変更は、最近の海外連結子会社等での生産・販売活動の拡大に伴い、受取ロイヤリティー等が増加したこと、また今後も継続して受取ロイヤリティー等の増加が見込まれることなどから、当社の営業活動の成果をより適切に表示するために行ったものであります。

この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べ、前第3四半期連結累計期間の「日本」の「外部顧客への売上高」が83百万円、「セグメント間の内部売上高又は振替高」が4億90百万円、「セグメント利益」が5億74百万円、それぞれ増加しております。一方、「セグメント間取引消去」の「利益」が4億90百万円減少しております。この結果、前第3四半期連結累計期間の「四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益」が83百万円増加しております。

(参考資料)

平成27年3月期第3四半期 決算補足資料

1. 第3四半期連結実績及び通期連結見通し

(単位:百万円、%)

	平成26年3月期 (第3四半期)		平成27年3月期 (第3四半期)		対前年同四半期 増減		平成27年3月期 (通期見通し)		対前期増減	
売上高	85,717	100.0	91,273	100.0	5,555	6.5	121,000	100.0	3,163	2.7
営業利益	1,424	1.7	1,366	1.5	△58	△4.1	2,700	2.2	69	2.7
経常利益	2,135	2.5	2,059	2.3	△76	△3.6	2,400	2.0	△851	△26.2
四半期(当期)純利益	1,257	1.5	1,496	1.6	239	19.0	1,600	1.3	△436	△21.4
包括利益	2,305	2.7	1,843	2.0	△461	△20.0	—	—	—	—
1株当たり四半期 (当期)純利益	14円19銭		16円89銭		2円70銭		18円5銭		△4円92銭	
発行済株式数	89,003千株		89,003千株		—		89,003千株		—	
連結子会社数	14社		14社		—		15社		1社	
持分法適用会社数	0社		0社		—		0社		—	
期末人員 (臨時雇用者除く)	3,405名		3,560名		155名		—		—	

2. 製品別連結売上高

(単位:百万円、%)

	平成26年3月期 (第3四半期)		平成27年3月期 (第3四半期)		対前年同四半期 増減	
ウインドレギュレータ	33,103	38.6	34,347	37.6	1,243	3.8
シートクライナ・アジャスタ	22,840	26.6	22,929	25.1	89	0.4
ドアサッシ	17,482	20.4	21,555	23.6	4,073	23.3
ロック&ヒンジ	5,276	6.2	5,598	6.1	321	6.1
モールディング	3,780	4.4	3,993	4.4	212	5.6
その他の	3,234	3.8	2,849	3.2	△385	△11.9
売上高合計	85,717	100.0	91,273	100.0	5,555	6.5

3. 販売先別連結売上高

(単位:百万円、%)

	平成26年3月期 (第3四半期)		平成27年3月期 (第3四半期)		対前年同四半期 増減	
トヨタ自動車	38,765	45.2	42,543	46.6	3,777	9.7
トヨタ紡織	11,028	12.9	11,339	12.4	310	2.8
トヨタ車体	2,122	2.5	2,556	2.8	433	20.4
ダイハツ工業	2,311	2.7	2,351	2.6	40	1.7
アイシン精機	1,452	1.7	1,180	1.3	△271	△18.7
その他の	2,791	3.2	3,622	4.0	831	29.8
トヨタ系計	58,471	68.2	63,593	69.7	5,122	8.8
日産自動車	6,386	7.5	7,180	7.9	793	12.4
スズキ	6,528	7.6	6,487	7.1	△40	△0.6
日本発条	4,449	5.2	3,523	3.9	△926	△20.8
三菱自動車工業	2,528	2.9	2,858	3.1	330	13.1
その他の	7,353	8.6	7,630	8.3	276	3.8
売上高合計	85,717	100.0	91,273	100.0	5,555	6.5

4. 連結経常利益増減要因(対前年同四半期比較)

(単位:百万円)

要因	金額	要因	金額
<増益要因>		<減益要因>	
・操業変動による利益増	1,393	・売価変動	△571
・原価改善	373	・たな卸資産評価損	△240
		・労務費・減価償却費増等	△1,031
計	1,766	計	△1,842
		差引経常利益	△76

5. セグメント別売上高・利益

(単位: 百万円、%)

		平成26年3月期 (第3四半期)	平成27年3月期 (第3四半期)	対前年同四半期 増減	
売上高	日本	58,945	61,890	2,944	5.0
	米国	17,251	19,648	2,397	13.9
	中国	4,947	5,490	543	11.0
	東南アジア	6,781	6,565	△216	△3.2
	取引消去	△2,208	△2,321	△113	—
	合計	85,717	91,273	5,555	6.5
利益 (△損失)	日本	795	637	△157	△19.8
	米国	△90	235	326	—
	中国	231	△18	△250	—
	東南アジア	469	520	51	10.9
	取引消去	18	△8	△26	—
	合計	1,424	1,366	△58	△4.1

6. 連結財政状態

(単位: 百万円)

	平成26年3月期	平成27年3月期 (第3四半期)	対前期増減
総資産	78,960	78,829	△131
純資産	40,379	40,155	△223
自己資本比率	50.8%	50.6%	△0.2%
1株当たり純資産	452円74銭	450円20銭	△2円54銭

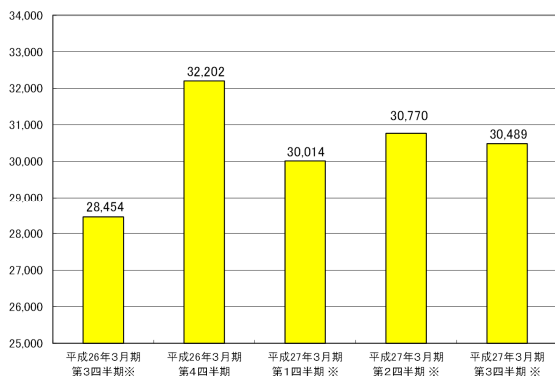
7. 連結業績等の推移

(単位: 百万円、%)

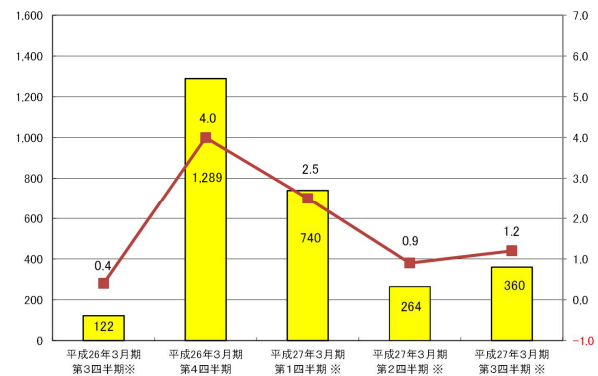
	前々期 平成25年3月期		前期 平成26年3月期		通期見通し 平成27年3月期	
	売上高	109,850	100.0	117,836	100.0	121,000
営業利益	2,506	2.3	2,630	2.2	2,700	2.2
経常利益	3,063	2.8	3,251	2.8	2,400	2.0
当期純利益	1,586	1.4	2,036	1.7	1,600	1.3
設備投資	5,900		5,285		6,184	
減価償却費	4,260		4,571		5,232	
1株当たり配当金	5円		5円		5円	

<連結売上高の推移>

(単位: 百万円)



<連結営業利益と営業利益率の推移> (単位: 百万円、%)



※表示方法の変更による組み替えを行っております。